



眉山  
秋乃汐路哉  
うさ丹に赤のす

松  
芦涯  
荒涼や音傳ふるは  
まじりし

特別  
~5  
6553  
788



月ちろく伏家以紙尾あし耶

可東文



大佛や堂一遠く道と秋をさす

大威

雲は岩を路と磯をこけ嶺をさす

車蓋

古乃音此まゝの如く今朝の秋

御原女  
梅路

八月也大竹系と切り流るる

イセ  
嶮水

古急な土塙は峰乃夕アノ如

碓礮  
百噴

夫々多きとくく一其のて紙近種

芦漕

植ふやうもるさぬをまほし

噂有

月の影虫啼寂乃 確き海て

可喃

何くく目貫櫻ちくくく

桃壺

か成りあゝぬ非示居くれく言初ん

生来

床下り夏 岩 砂川

冨更

寛政己丙秋

洛菊舎梓

